

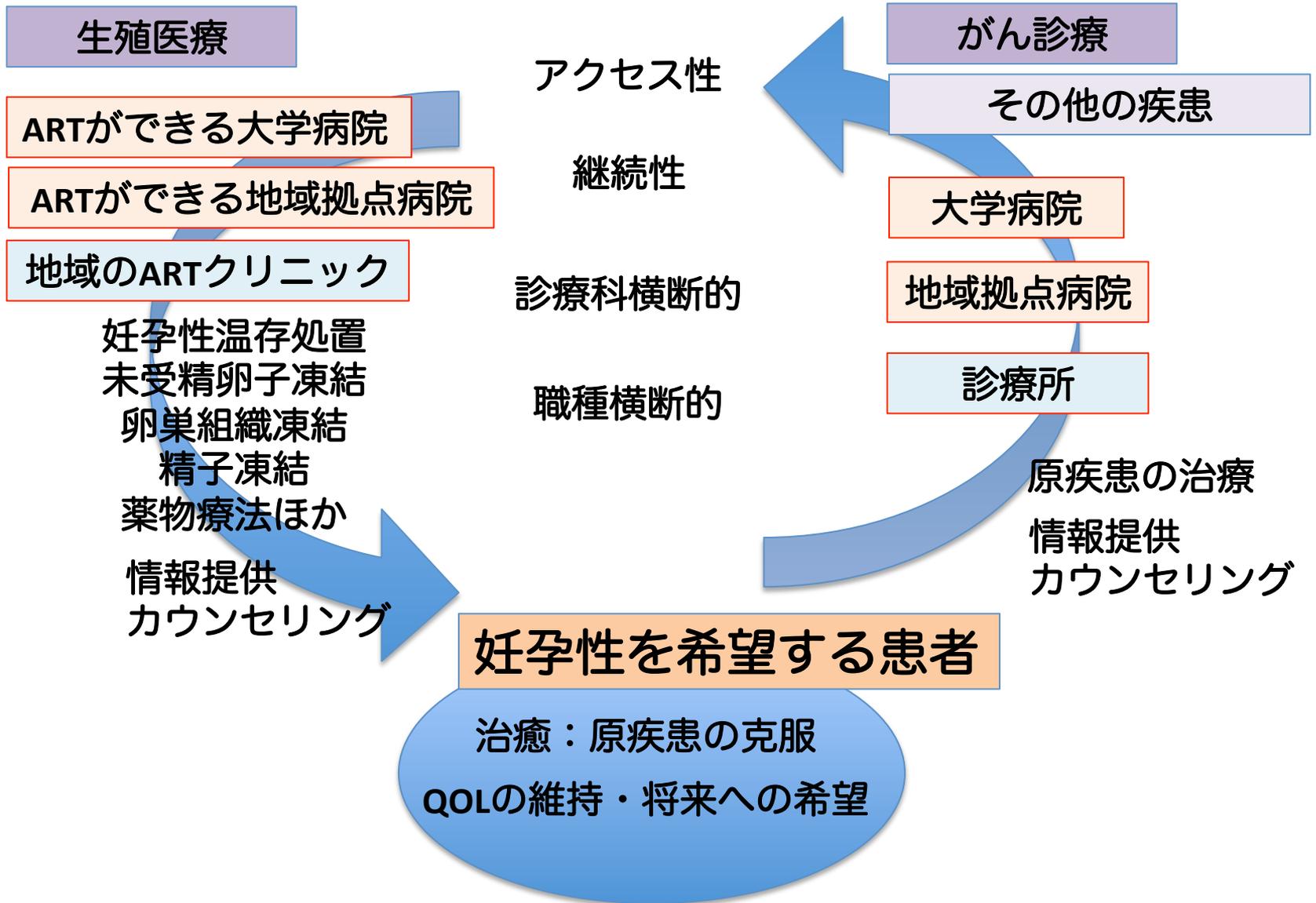
平成28年度厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）  
「総合的な思春期・若年成人（AYA）世代のがん対策に関する研究」

平成28年度 第3回班会議

# がん生殖医療の提供体制： 長崎での現況と今後の展望

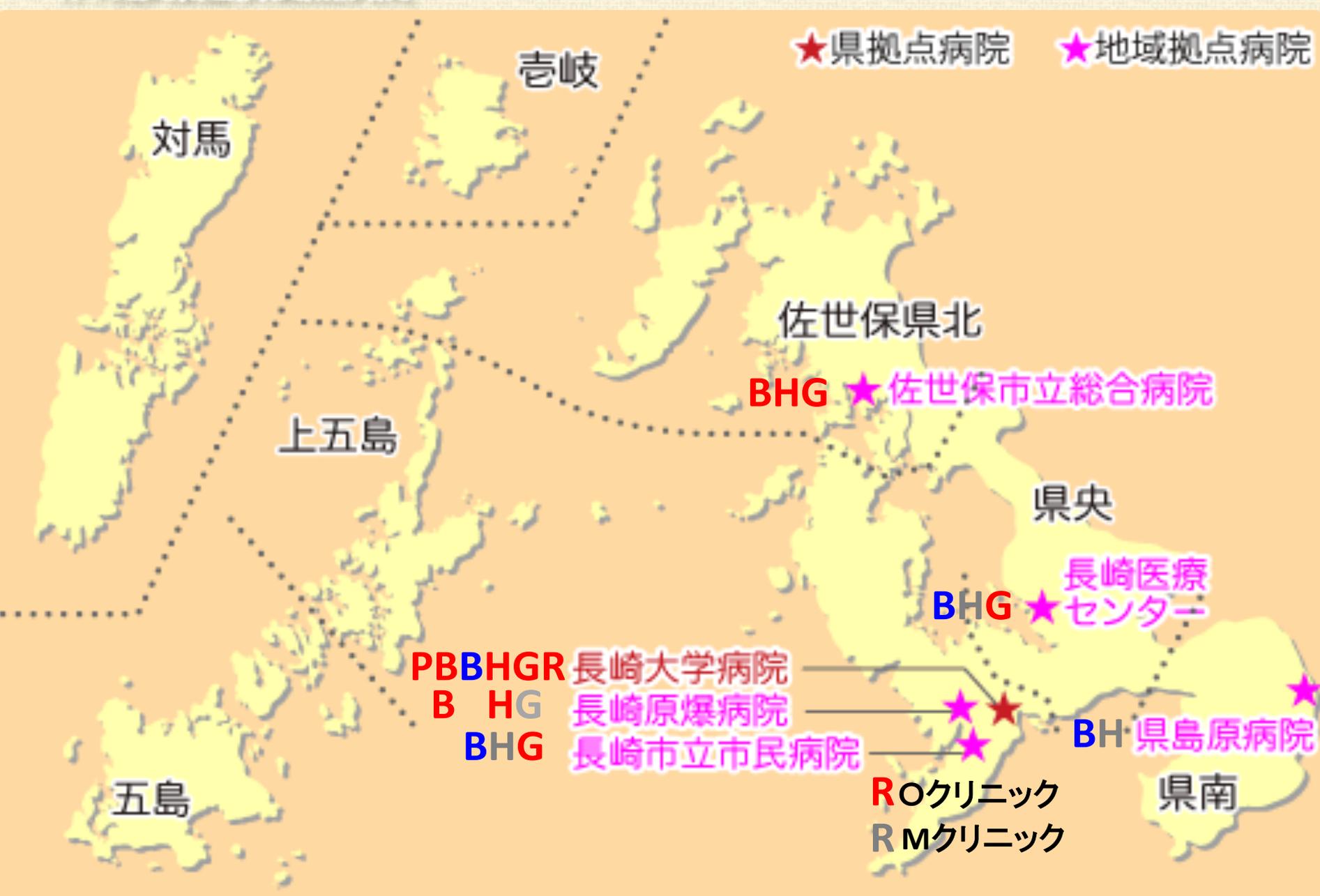
長崎大学病院 産科婦人科  
北島道夫

# がん生殖医療（妊孕性温存）地域ネットワーク



■ ■ がん診療連携拠点病院

★ 県拠点病院    ☆ 地域拠点病院



P:小児科, B: 乳腺外科, H: 血液内科, G:産婦人科, R:生殖医療

長崎県ホームページから改変



■ ■ がん診療離島中核病院

★ 離島の中核病院





福岡へ

対馬

志岐

北九州

宇部

福岡

福岡県

唐津

平戸

佐賀県

佐賀

久留米

佐世保

九重町

大牟田

熊本

長崎

長崎県

五島

高千穂町

# 患者/医療リソースの偏在と不一致

地理的条件



行政圏



社会経済圏

# Informed choiceの実践

## 安全性と有効性の担保

ネットワーク = 双方向の情報共有

### 患者側

時間的制約

地理的制約

経済的制約

知識不足

### 診療側

集約化⇔分散⇔偏在

不足⇔充足

治療方針の相違

認識不足

コーディネーション

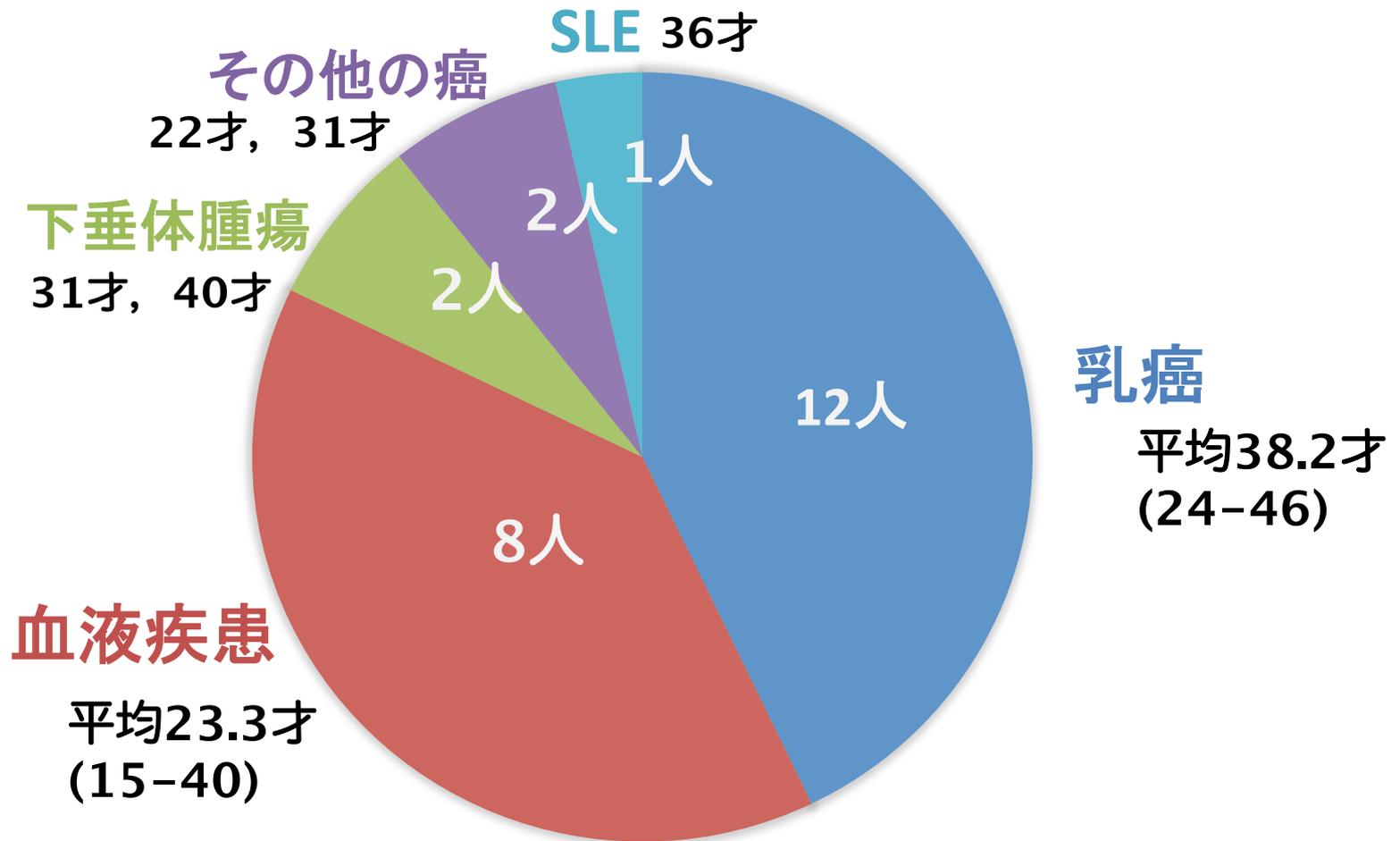
集約・統一化

# 生殖補助医療に関する日本産科婦人科学会登録施設

県	体外受精・胚移植の臨床実施に関する登録施設	ヒト胚および卵子の凍結保存と移植に関する登録施設	顕微授精に関する登録施設	医学的適応による未受精卵子および卵巣組織の採取・凍結・保存に関する登録施設	
				未受精卵子	卵巣組織
福岡	18	18	16	1	0
佐賀	1	1	1	0	0
長崎	3	3	2	2	1
熊本	7	7	6	0	0
大分	3	3	3	2	0
宮崎	5	5	5	0	0
鹿児島	5	5	5	1	0
沖縄	7	7	7	1	0

# 当科における妊孕性温存に関する相談

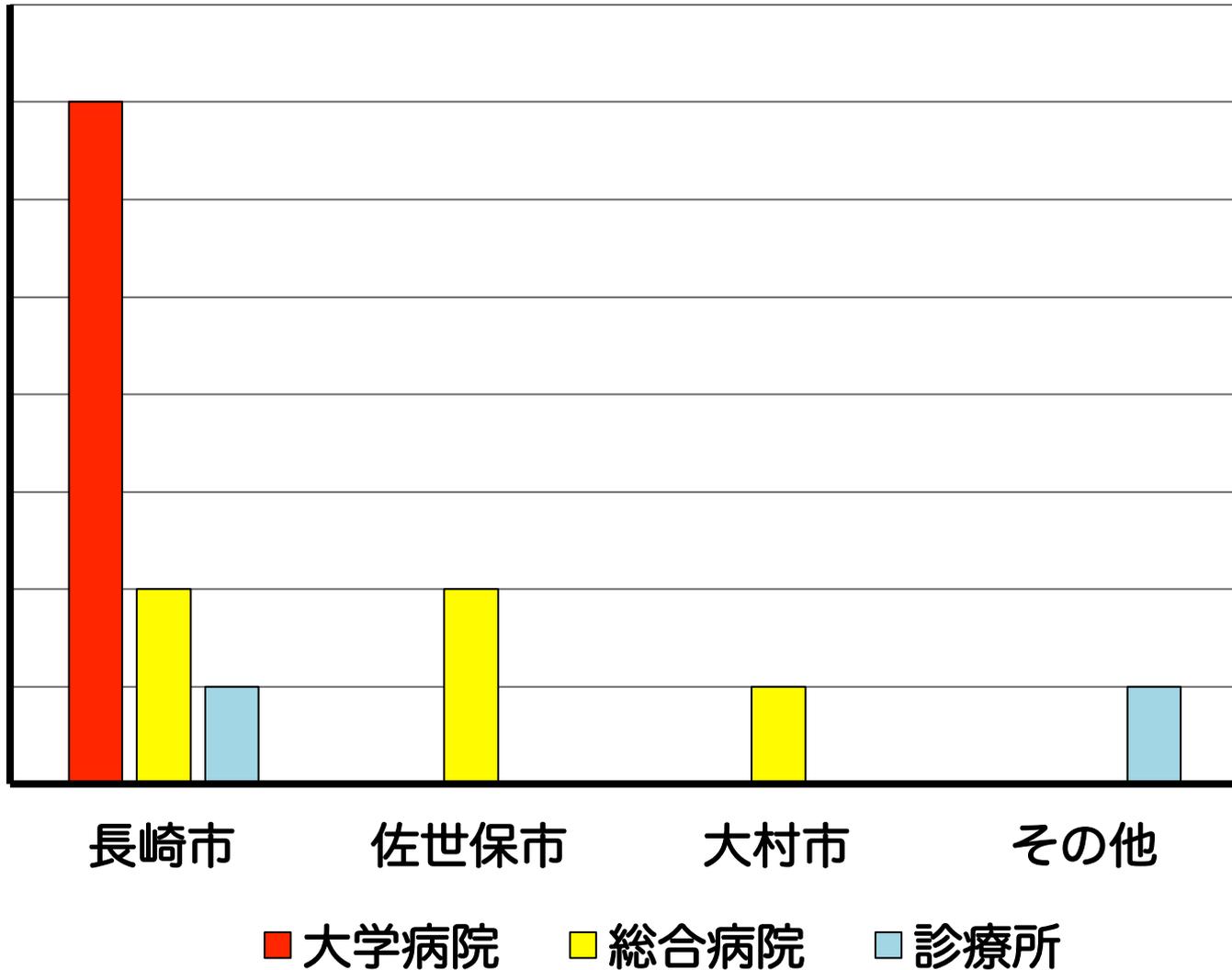
n=28, 2016年10月まで



括弧内は範囲

# 紹介元医療機関の内訳

(人)



# 地域のがん生殖医療提供体制の評価：スコア化？

集約化⇔分散⇔偏在

生殖医療

産婦人科  
泌尿器科

ARTができる大学病院

ARTができる地域拠点病院

地域のARTクリニック

不足⇔充足



診療科



施設



医療圏



地域

がん診療

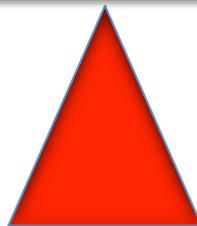
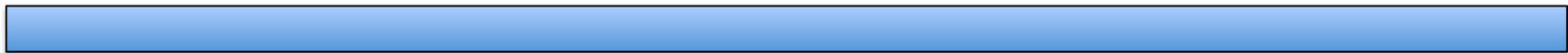
各診療科

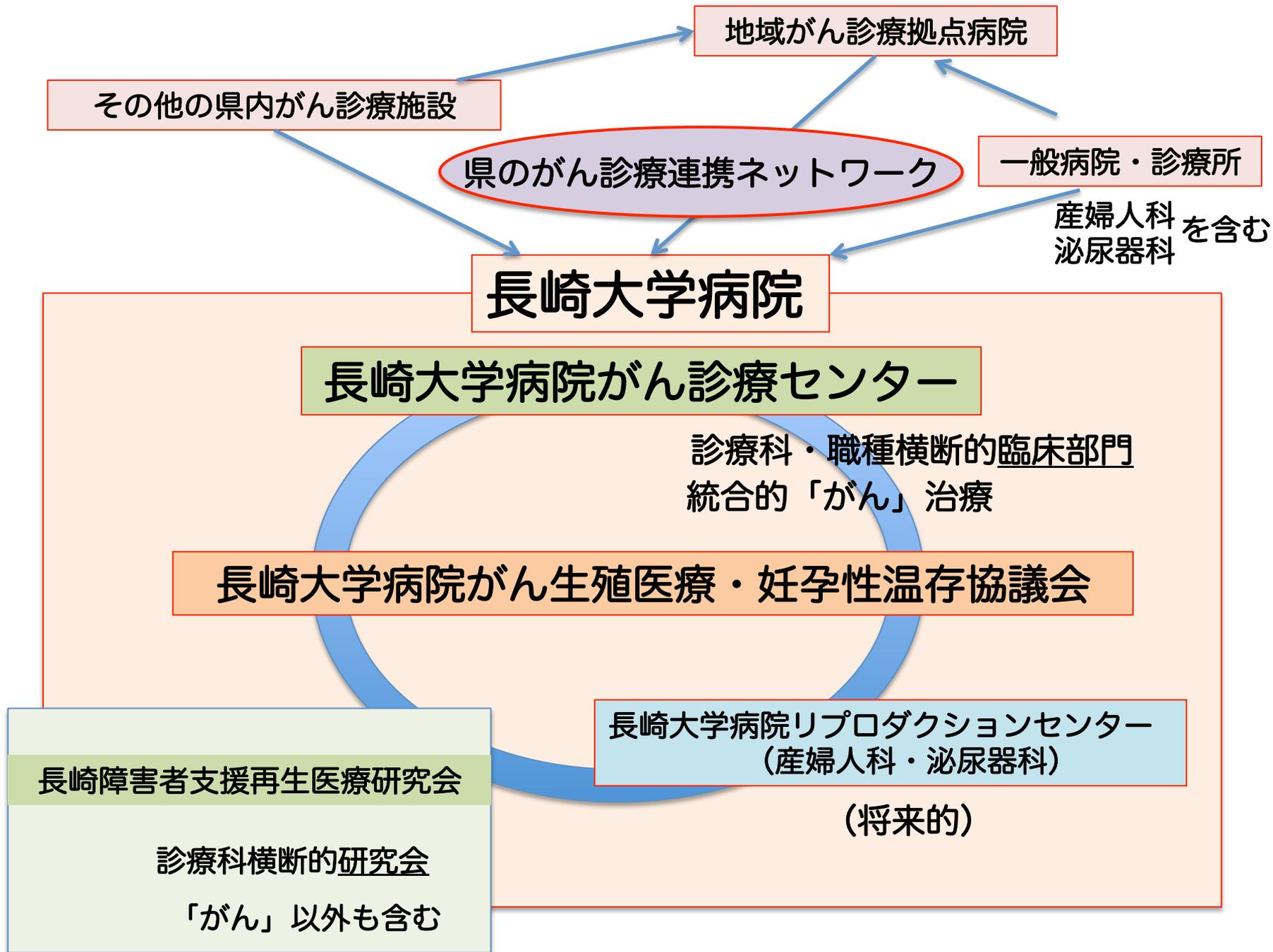
乳腺外科  
血液内科  
小児科 etc.

大学病院

地域拠点病院

診療所





# 長崎大学病院がん生殖医療・妊孕性温存協議会

議長：がん診療センター 教授

幹事長：産婦人科（北島道夫）

外科（乳腺外科） 第1外科：  
第2外科：

血液内科：

小児科：

外科（小児外科）：

泌尿器科，放射線科．．．

看護師：がん診療認定看護師，生殖医療認定看護師

臨床心理士・カウンセラー

保健師・ソーシャルワーカー

放射線技師・検査技師

# 今後の長崎でのがん生殖医療の均てん化にあたって

窓口としての機能の充実：でんわ・FAX・ネットetc  
カウンセリング・トリアージ・紹介

他県（とくに福岡県）のがん生殖ネットワークとの情報共有

啓発活動：とくに一般

継続性・安全性・有効性の担保  
臨床研究

人材育成

医師以外の専門メディカルスタッフ

長崎大学病院でのがん生殖医療・妊孕性温存



がん生殖医療・妊孕性温存ネットワークながさき

将来的には

西九州・がん生殖医療・妊孕性温存ネットワーク

近隣大学とのコラボ

人材の確保

行政

## 第9回 長崎小児内分泌懇話会のご案内

### 日時

平成28年12月2日(金)  
19時00分～20時10分

### 会場

長崎大学医学部(ポンペ会館)  
長崎市坂本1丁目12番4号

【19:00～】 ファイザーインフォメーション

【19:10～】 特別講演

**座長** 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 小児科学  
講師 伊達木 澄人 先生

**演者** 大阪大学大学院医学系研究科 小児科学  
講師 三善 陽子 先生

『小児がん経験者の長期フォローアップ  
- 妊孕性について -』

軽食を用意いたしております。

主催 ファイザー株式会社

# 平成28年度 第4回長崎県がん診療連携拠点病院研修会

下記の通り、県がん診療連携拠点病院の研修事業として、地域がん診療連携拠点病院および地域医療機関の医療従事者を対象とした研修会を開催致します。今回は、がん患者の生殖機能温存をテーマとしました。本テーマは、昨年12月に策定されたがん対策加速化プランにおいて、小児・AYA世代のがん対策として挙げられています。当日は具体的な妊孕性温存の方法と問題点、若年女性がん患者での実際等、症例を交えながらご講演頂きます。各医療機関の皆様におかれましては、日常業務で大変御多忙とは存じますが、万障お繰り合わせのうえご出席いただきますようお願い申し上げます。

日時：平成29年1月11日(水)  
19:00~20:30

場所：長崎大学病院  
松本純隆記念講義室  
(第3講義室)



※病院駐車場ご利用の方には100円券を受付でお渡しします。

開会挨拶：長崎大学病院がん診療センター センター長 芦澤 和人

## 特別講演

座長：長崎大学病院がん診療センター 副センター長 福田 実

「がんサバイバーのQOL:がん治療と生殖機能  
～女性での妊孕性温存を中心に～」

長崎大学病院 産婦人科 講師 北島 道夫 先生

質疑応答

閉会挨拶：長崎大学病院 がん診療センター 本田 琢也

主催 長崎県がん診療連携拠点病院 (長崎大学病院 がん診療センター 電話 095-819-7779)  
後援 長崎県がん診療連携協議会、長崎大学医歯薬学総合研究科革新的ながん治療・予防研究ユニット  
長崎大学がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

地域内医療連携  
ネット配信